

仙台市の産業別・職業別就業者

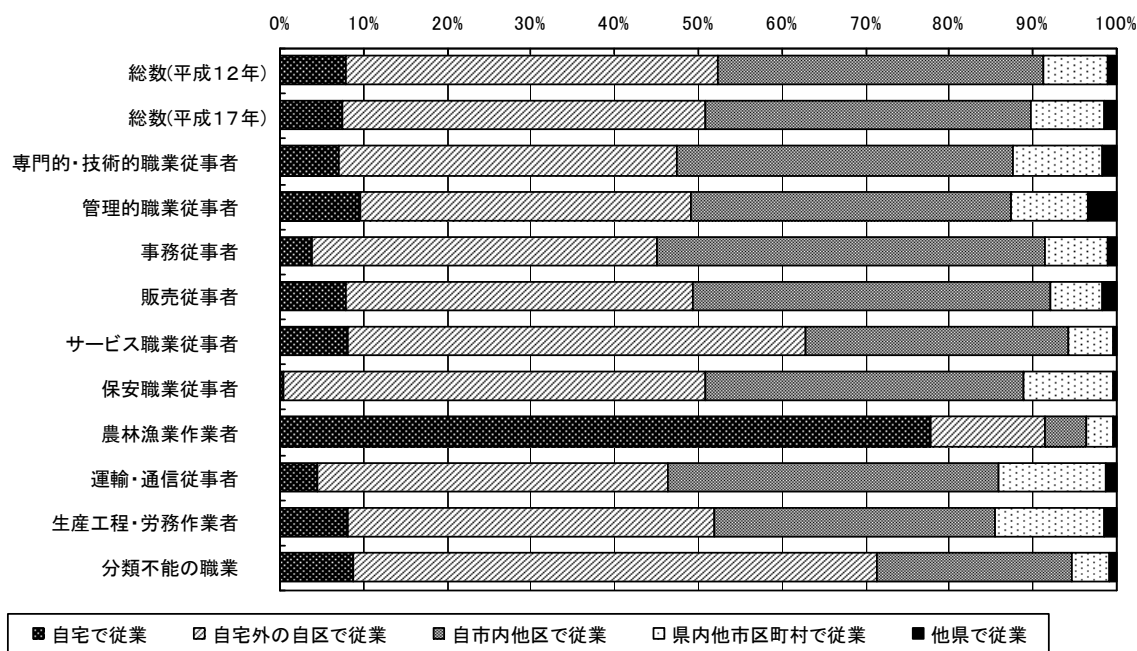
～「平成17年国勢調査 従業地・通学地集計結果その2」より～

この特集は、平成17年10月1日現在で実施された、平成17年国勢調査における「従業地・通学地集計結果その2」における仙台市の結果の概要をまとめ、総務省統計局から公表された結果表の抜粋を掲載するものです。

1. 仙台市を常住地とする就業者の職業(大分類)別従業地

仙台市に常住する15歳以上の就業者は463,466人です。「従業地・通学地集計結果その2」の結果からこれを職業大分類別に見たものが図1です。総数比較では平成12年と平成17年では、「県内他市町村で従業」している人が増加しています。

図1 職業(大分類)別15歳以上就業者の従業地別割合



従業地別・職業(「分類不能の職業」除く)別に見ると、自宅就業者の割合が最も高い職業は「農林漁業作業員」(当該就業者の77.8%)が抜き目出で多く、また自宅以外の自区内での割合が最も高い職業は「サービス職業従事者」(同54.7%)で、「農林漁業作業員」を除く各職業も40~50%

の数値を示しています。また市内他区における就業者の割合が高い職業は「事務従事者」（当該就業者の46.3%）、「販売従事者」（同42.3%）、「専門・技術的職業従事者」（同40.1%）などとなっています。

一方、県内他市町村における就業者の割合が他の職業に比べて高いのは「生産工程・労務作業従事者」（当該就業者の13.2%）、「運輸・通信従事者」（同12.8%）、「保安職業従事者」（同10.6%）、「専門的・技術的職業従事者」（同10.6%）などで、また、県外における就業者の割合が高いのは「管理的職業従事者」（当該就業者の3.5%）となっています。

2. 仙台市を従業地とする就業者の職業(大分類)

仙台市を従業地とする15歳以上の就業者は522,328人です。「従業地・通学地集計その2」の結果からこれを職業大分類別に見たものが表1です。7年、12年、17年とも「事務従事者」が最も多く、平成17年は119,682人（構成比22.9%）となっています。次いで「生産工程・労務作業従事者」104,975人（同20.1%）、「販売従事者」104,564人（同20.0%）、「専門的・技術的職業従事者」78,534人（同15.0%）となっており、これら4職業の従事者が、就業者総数の約8割を占めています。

表1 仙台市を従業地とする15歳以上就業者の職業(大分類)

単位：人，%

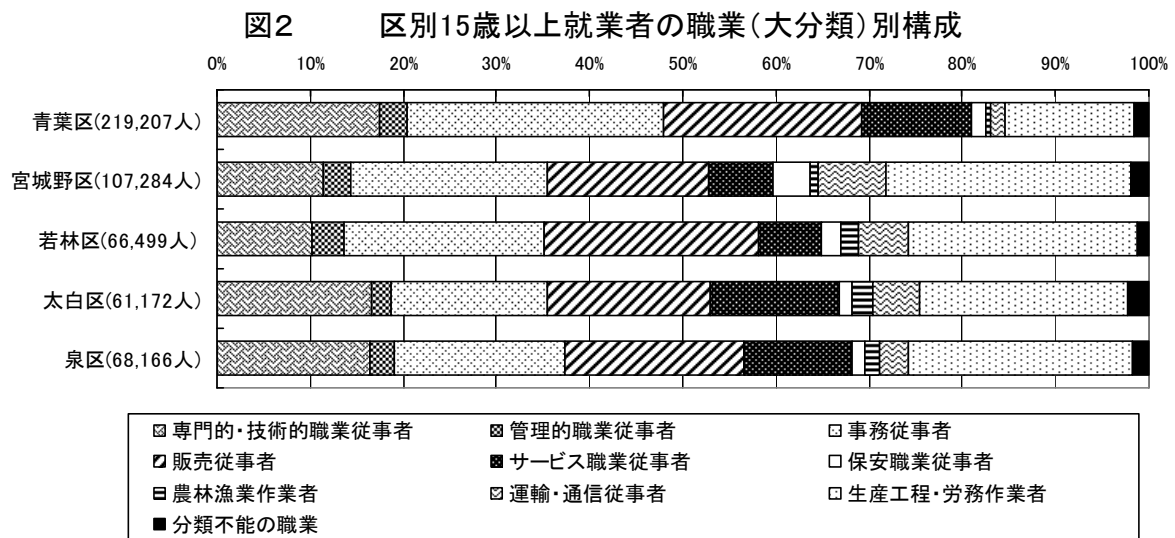
職業（大分類）	平成17年		平成12年		平成7年		平成12年から17年		平成7年から12年	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	の増減	増減率	の増減	増減率
専門的・技術的職業従事者	78,534	15.0	79,544	15.2	76,550	14.7	-1,010	-1.3	2,994	3.9
管理的職業従事者	15,280	2.9	17,511	3.4	28,642	5.5	-2,231	-12.7	-11,131	-38.9
事務従事者	119,682	22.9	126,257	24.2	127,851	24.5	-6,575	-5.2	-1,594	-1.2
販売従事者	104,564	20.0	113,737	21.8	110,402	21.1	-9,173	-8.1	3,335	3.0
サービス職業従事者	54,055	10.3	49,183	9.4	45,296	8.7	4,872	9.9	3,887	8.6
保安職業従事者	11,055	2.1	10,237	2.0	9,953	1.9	818	8.0	284	2.9
農林漁業作業従事者	5,384	1.0	5,666	1.1	7,228	1.4	-282	-5.0	-1,562	-21.6
運輸・通信従事者	20,024	3.8	21,387	4.1	22,808	4.4	-1,363	-6.4	-1,421	-6.2
生産工程・労務作業従事者	104,975	20.1	114,006	21.8	117,166	22.4	-9,031	-7.9	-3,160	-2.7
分類不能の職業	8,775	1.7	9,085	1.7	3,466	0.7	-310	-3.4	5,619	162.1
計	522,328	100.0	546,613	100.0	549,362	100.0	-24,285	-4.4	-2,749	-0.5

次に、表1の平成12年から平成17年の増減を見ると、まず総数が減っていることが見て取れます。中でも「販売従事者」で9,173人の減少（△8.1%）、「生産工程・労務作業従事者」で9,031人の減少（△7.9%）、「事務従事者」で6,575人の減少（△5.2%）など、職業9項目（「分類不能の職業」除く）中7項目で減少しています。一方、「サービス職業従事者」の4,872人（9.9%）増

加や「保安職業従事者」の818人(8.0%)増加, などの職業もありますが, これらの増加率は全て10%以下となっています。

3. 区別職業就業状況

「従業地・通学地集計その2」の結果から, 仙台市を従業地とする就業者の区別の職業大分類別構成を見たものが図2です。



青葉区における就業者は219,207人と5区の中で最も多く, 主な職業は「事務従業者」(27.4%)「販売従業者」(21.3%), 「専门的・技術的職業従事者」(17.4%)となっています。他の区に比べ「事務従業者」の割合が高い一方, 「生産工程・労務作業者」の割合が低くなっています(13.8%)。ただし「生産工程・労務作業者」も人数では30,295人と5区の中で最も多くなっています。実際に人数・割合ともに5区の中で最も低いのは「農林漁業作業者」で(818人, 0.4%)です。

宮城野区における就業者は107,284人で, 青葉区に次いで2番目に多く, 特に「生産工程・労務作業者」の割合が26.3%と高くなっています。次いで「事務従業者」(21.2%), 「販売従業者」(17.4%)となっています。さらに「保安職業従事者」(4,257人, 4.0%)と「運輸・通信従事者」(7,748人, 7.2%)は5区の中で最も高くなっています。

若林区における就業者は66,499人で, 「生産工程・労務作業者」(24.6%)の割合が最も高く, 次いで「販売従業者」(23.0%), 「事務従業者」(21.4%)となっています。一方, 「専门的・技術的職業従事者」(6,815人, 10.2%)と「サービス職業従事者」(4,522人, 6.8%)は人数・割合とも5区の中で最も低くなっています。

太白区における就業者は68,166人で, 5区の中で最も少ないものとなっています。割合で見ると, 「生産工程・労務作業者」(22.3%)が最も高く, 以下「販売従業者」(17.5%), 「事務従業者」

(16.7%)の順となっています。一方、「管理的職業従事者」(1,351人, 2.2%),「保安職業従事者」(881人, 1.4%)は人数・割合とも5区の中でも低くなっています。

泉区における就業者は68,166人で、「生産工程・労務作業者」(24.1%),「販売従事者」(19.2%),「事務従事者」(18.4%)などの割合が高く、逆に、「保安職業従事者」(1.4%),「農林漁業作業者」(1.4%)の割合が低くなっています。

4. 従業地・従業地別就業状況

「従業地・通学地集計その2」の結果から、仙台市を常住地とする就業者の従業地別構成を見たものが図3～図5です。

図3 従業地別15歳以上就業者数(人)

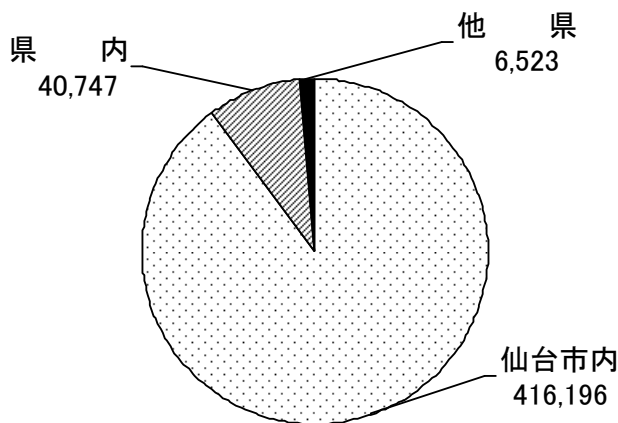


図3を見ると、仙台市を常住地とする就業者の約90%が、仙台市内に従業していることが分かります。仙台市以外の県内に従業する人は約9%、他県での従業者は約1%に過ぎません。

図4 仙台市を除く県内就業者数(人)

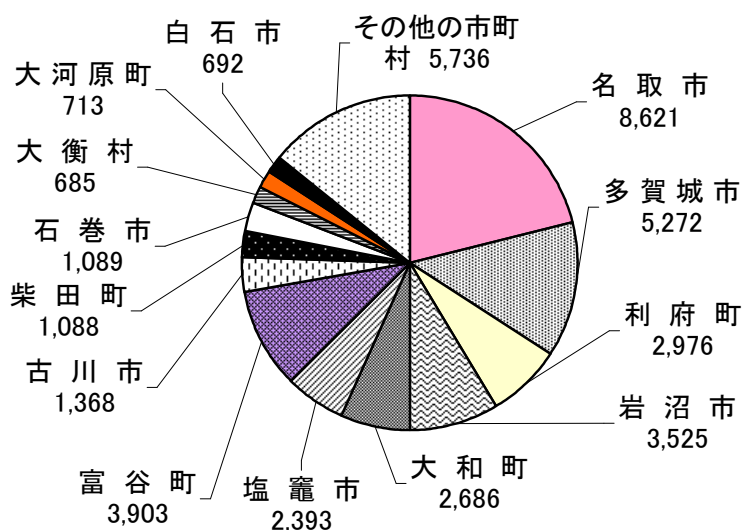
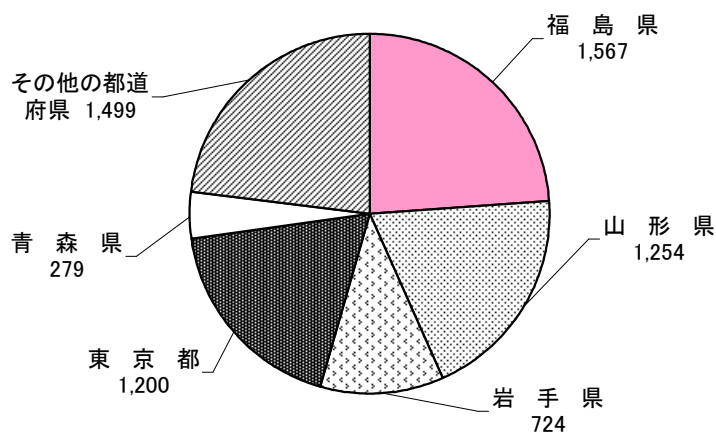


図4は図3中の、仙台市を除く県内就業者数を従業地別に見たものです。就業者が最も多いのは名取市で8,621人(21.2%)、次いで多賀城市の5,272人(12.9%)、以下、岩沼市(3,525人、8.6%)、利府町(2,976人、7.3%)などとなっています。

図5 宮城県外就業者数(人)



さらに、図5は宮城県以外での従業地を表したのですが、最も就業者が多いのは福島県の1,567人(24.0%)、次いで山形県の1,254人(19.2%)で、この2県で宮城県外就業者の約4割を占めています。

次に「従業地・通学地集計その2」の結果から、仙台市を従業地とする就業者の常住地別構成を見たものが図6～図8です。

図6 常住地別15歳以上就業者数(人)

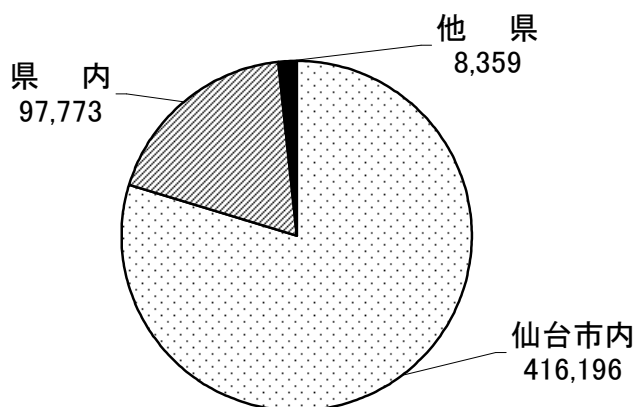


図6より、仙台市に従業する就業者の79.7%は、仙台市を常住地としています。また、仙台市を除く県内を常住地とする就業者は18.7%、宮城県外では1.6%となっています。

図7 市外に常住する就業者数(人)

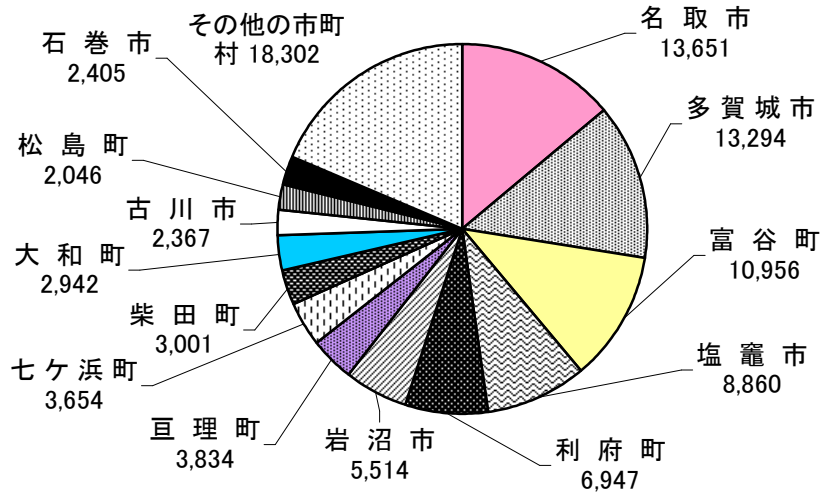


図7は仙台市に従業する就業者の内、県内(仙台市除く)に常住する就業者の割合を示したものです。図4 仙台市を除く県内従業者数に表れた割合と同様にここでも、名取市が13,651人(20.0%)と最も多く、多賀城市が13,294人(13.6%)で2番目に大きな割合となっています。

図8 県外に常住する就業者数(人)

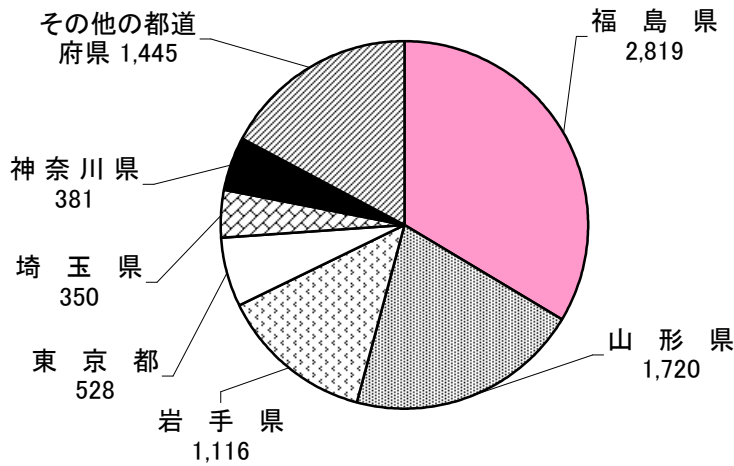


図8は仙台市に従業する就業者の内、宮城県以外に常住する就業者の割合を示したのですが、図5 宮城県外就業者数と同様に福島県(2,819人, 33.7%)、山形県(1,720人, 20.6%)が上位となっており、この2県で全体の5割以上を占めています。

5. 産業(中分類)別就業状況

「従業地・通学地集計Ⅲ」の結果から仙台市を従業地とする就業者を、産業中分類別に見たものが表2です。これによると、最も就業者数が多いのは「卸売業」(54,435人、構成比10.4%)、次いで「建設業」(54,213人、同10.3%)となっています。

表2 仙台市を従業地とする15歳以上就業者数の多い産業(中分類)

順位	産業(中分類)	就業者数(人)	構成比(%)
1	卸売業	54,435	10.4
2	建設業	54,213	10.3
3	その他の事業サービス業	32,226	6.1
4	飲食料品小売業	29,382	5.6
5	医療業	24,453	4.7
6	その他の小売業	20,483	3.9
7	学校教育	20,431	3.9
8	一般飲食店	19,794	3.8
9	金融・保険業	16,808	3.2
10	社会保険・社会福祉・介護事業	16,559	3.2
11	道路貨物運送業	15,946	3.0
12	専門サービス業(他に分類されないもの)	15,550	3.0
13	国家公務	11,123	2.1
14	不動産業	10,730	2.0
15	情報サービス業	10,448	2.0

(※「日本産業分類」の平成14年改訂により、平成17年調査と12年調査の比較は行っていない。)

また、表3のとおり最も従業者数が少ないのは「なめし革・同製品・毛皮製造業」及び「漁業」となっています。

表3 仙台市を従業地とする15歳以上就業者の少ない産業(中分類)

順位	産業(中分類)	就業者数(人)	構成比(%)
1	なめし革・同製品・毛皮製造業	13	0.00
2	漁業	23	0.00
3	水産養殖業	40	0.01
4	鉱業	44	0.01
5	航空運輸業	49	0.01
6	林業	50	0.01
7	水運業	164	0.03
8	非鉄金属製造業	167	0.03
9	繊維工業(衣服, その他の繊維製品を除く)	180	0.03
10	木材・木製品製造業(家具を除く)	210	0.04
11	輸送用機械器具製造業	298	0.06
12	その他のサービス業	309	0.06
13	情報通信機械器具製造業	314	0.06
14	石油製品・石炭製品製造業	319	0.06
15	ゴム製品製造業	342	0.07

(※「日本産業分類」の平成14年改訂により、平成17年調査と12年調査の比較は行っていない。)

6. 職業(中分類)別就業状況

「従業地・通学地集計Ⅲ」の結果から仙台市を従業地とする就業者を、職業中分類別に見たものが表4です。最も就業者数が多いのは「一般事務従事者」(118,286人、構成比22.6%)、次いで「商品販売従事者」(76,262人、同14.5%)となっており、この2業種で全体の約4割を占めています。

なお、「会社・団体等役員」は、平成12年と比較すると就業者数で40.0%の減となっています。

表4 仙台市を従業地とする15歳以上就業者数の多い職業(中分類)

順位	職業(中分類)	平成17年 就業者数 (人)	平成12年 就業者数 (人)	増加率 (%)	構成比 【17年】 (%)
1	一般事務従事者	118,286	124,932	△ 5.3	22.6
2	商品販売従事者	76,262	82,619	△ 7.7	14.5
3	販売類似職業従事者	28,693	26,551	8.1	5.5
4	保健医療従事者	23,010	18,288	25.8	4.4
5	建設作業員	20,570	23,519	△ 12.5	3.9
6	技術者	20,118	26,532	△ 24.2	3.8
7	自動車運転者	17,365	19,510	△ 11.0	3.3
8	飲食物調理従事者	16,546	16,513	0.2	3.2
9	その他の労務作業員	16,298	15,452	5.5	3.1
10	接客・給仕職業従事者	15,234	15,689	△ 2.9	2.9
11	教員	13,618	14,069	△ 3.2	2.6
12	運搬労務作業員	13,227	12,666	4.4	2.5
13	保安職業従事者	11,183	10,278	8.8	2.1
14	その他の製造・制作作業員	9,889	11,368	△ 13.0	1.9
15	会社・団体等役員	9,778	16,284	△ 40.0	1.9

また、表5のとおり最も従業者数が少ないのは「林業作業員」及び「革・革製品製造作業員」となっています。この2業種については、増加率を見ても大きく減少しています。

表5 仙台市を従業地とする15歳以上就業者数の少ない職業(中分類)

順位	職業(中分類)	平成17年 就業者数 (人)	平成12年 就業者数 (人)	増加率 (%)	構成比 【17年】 (%)
1	林業作業員	18	140	△ 87.1	0.00
2	革・革製品製造作業員	33	97	△ 66.0	0.01
3	船舶・航空機運転従事者	48	42	14.3	0.01
4	漁業作業員	72	57	26.3	0.01
5	紡織作業員	234	169	38.5	0.04
6	飲料・たばこ製造作業員	260	491	△ 47.0	0.05
7	採掘作業員	279	325	△ 14.2	0.05
8	管理的公務員	371	747	△ 50.3	0.07
9	鉄道運転従事者	372	502	△ 25.9	0.07
10	計量計測機器・光学機械器具組立・修理作業員	412	541	△ 23.8	0.08
11	パルプ・紙・紙製品製造作業員	468	658	△ 28.9	0.09
12	金属材料製造作業員	474	434	9.2	0.09
13	ゴム・プラスチック製品製造作業員	501	674	△ 25.7	0.10
14	外勤事務従事者	502	680	△ 26.2	0.10
15	宗教家	548	651	△ 15.8	0.10

7. 職業(大分類)別就業状況の政令市比較

各政令市の職業大分類別の就業者数をまとめたものが表6です。

表6 常住地による職業大分類別15歳以上就業者数の政令市比較

常住地 政令市	総数 Total	職業(大分類)										
		A 専門的・ 技術的 職業従事者	B 管理的 職業従事者	C 事務 従事者	D 販売 従事者	E サービス 従事者	F 保安 職業従事者	G 農林漁 業者	H 運輸 従事者	I 生産工 程労働 者	J 分類不 能業	
札幌市	840,632	126,458	22,186	177,912	152,960	95,961	19,387	3,491	33,291	182,593	26,393	
仙台市	463,466	74,364	14,149	103,199	90,869	50,090	9,246	5,278	15,307	92,144	8,820	
さいたま市	576,575	90,143	15,311	141,992	105,352	51,169	9,408	6,023	16,054	124,198	16,925	
千葉市	431,779	69,338	11,886	105,454	73,443	41,646	8,372	3,735	13,761	88,994	15,150	
東京都	4,011,554	663,807	138,255	992,488	696,666	441,630	54,362	8,033	121,764	758,436	136,113	
川崎市	697,009	125,772	14,810	159,561	107,622	64,440	6,711	3,222	20,180	146,175	48,516	
横浜市	1,736,859	310,315	46,847	416,980	288,982	168,538	24,135	9,397	53,397	370,143	48,145	
新潟市	384,964	53,004	8,528	75,159	63,193	38,894	6,301	16,834	14,271	103,376	5,404	
静岡市	360,812	44,598	8,514	69,811	58,318	34,851	5,010	12,152	13,136	109,077	5,445	
浜松市	423,787	50,442	8,626	71,202	54,604	37,213	6,086	20,439	12,868	156,089	6,218	
名古屋	1,090,380	150,737	29,068	229,435	197,419	117,650	14,126	3,541	36,148	290,148	22,108	
京都市	688,268	106,820	16,944	127,891	119,181	86,681	9,477	6,234	22,270	170,728	22,042	
大阪市	1,159,848	147,903	28,727	238,042	213,424	145,367	13,242	1,305	39,412	310,459	21,967	
堺市	370,147	51,322	8,557	75,609	62,051	37,774	6,278	2,141	13,174	99,254	13,987	
神戸市	667,301	107,211	17,413	144,832	113,609	75,141	10,607	5,809	22,543	151,771	18,365	
広島市	563,701	83,616	14,619	121,322	99,407	58,197	9,630	7,325	19,920	137,925	11,740	
北九州市	436,742	63,293	10,155	81,445	70,760	48,732	7,746	4,026	17,724	124,385	8,576	
福岡市	648,832	101,021	17,684	145,248	131,736	75,242	9,240	5,139	20,972	123,462	19,088	

次に、同じ内容について、構成比で示したものが表7です。

表7 常住地による職業大分類別15歳以上就業者数の政令市比較(構成比)

常住地 政令市	総数 Total	職業(大分類)										
		A 専門的・ 技術的 職業従事者	B 管理的 職業従事者	C 事務 従事者	D 販売 従事者	E サービス 従事者	F 保安 職業従事者	G 農林漁 業者	H 運輸 従事者	I 生産工 程労働 者	J 分類不 能業	
札幌市	100.0	15.0	2.6	21.2	18.2	11.4	2.3	0.4	4.0	21.7	3.1	
仙台市	100.0	16.0	3.1	22.3	19.6	10.8	2.0	1.1	3.3	19.9	1.9	
さいたま市	100.0	15.6	2.7	24.6	18.3	8.9	1.6	1.0	2.8	21.5	2.9	
千葉市	100.0	16.1	2.8	24.4	17.0	9.6	1.9	0.9	3.2	20.6	3.5	
東京都	100.0	16.5	3.4	24.7	17.4	11.0	1.4	0.2	3.0	18.9	3.4	
川崎市	100.0	18.0	2.1	22.9	15.4	9.2	1.0	0.5	2.9	21.0	7.0	
横浜市	100.0	17.9	2.7	24.0	16.6	9.7	1.4	0.5	3.1	21.3	2.8	
新潟市	100.0	13.8	2.2	19.5	16.4	10.1	1.6	4.4	3.7	26.9	1.4	
静岡市	100.0	12.4	2.4	19.3	16.2	9.7	1.4	3.4	3.6	30.2	1.5	
浜松市	100.0	11.9	2.0	16.8	12.9	8.8	1.4	4.8	3.0	36.8	1.5	
名古屋	100.0	13.8	2.7	21.0	18.1	10.8	1.3	0.3	3.3	26.6	2.0	
京都市	100.0	15.5	2.5	18.6	17.3	12.6	1.4	0.9	3.2	24.8	3.2	
大阪市	100.0	12.8	2.5	20.5	18.4	12.5	1.1	0.1	3.4	26.8	1.9	
堺市	100.0	13.9	2.3	20.4	16.8	10.2	1.7	0.6	3.6	26.8	3.8	
神戸市	100.0	16.1	2.6	21.7	17.0	11.3	1.6	0.9	3.4	22.7	2.8	
広島市	100.0	14.8	2.6	21.5	17.6	10.3	1.7	1.3	3.5	24.5	2.1	
北九州市	100.0	14.5	2.3	18.6	16.2	11.2	1.8	0.9	4.1	28.5	2.0	
福岡市	100.0	15.6	2.7	22.4	20.3	11.6	1.4	0.8	3.2	19.0	2.9	

仙台市を常住地とする就業者数の構成比の順位で見ると、仙台市は「管理的職業従事者」、「販売従事者」、「保安的職業従事者」の構成比が他都市と比較して高く、反対に「運輸・通信従事者」及び「生産工程・労務作業」の構成比割合は低くなっています。